

## 仁淀川水系流域治水プロジェクトの推進

政策提言先 国土交通省

### 政策提言の要旨

- ・仁淀川支川（波介川、宇治川、日下川）の大規模事業＜直轄事業＞が令和5年度に完了。今後は、洪水時の本川水位を低下させる下流部の河道掘削や、いの町市街地で暮らす人々を守る堤防の粘り強い化など、本川の治水対策（ハード対策）を推進することが重要であり、早期に河道掘削などを進めるための重点的な予算配分と、堤防の粘り強い化の実施をお願いします。
- ・仁淀川下流域では、本川及び支川沿いに主要な市街地が形成されていますが、その地盤高は本川から離れるほど低くなっており、ひとたび氾濫が発生すると浸水深が深くなるため、多くの住民が命の危険にさらされています。迫り来る豪雨災害の脅威から流域の住民の生命を守るため、現行の仁淀川水系流域治水プロジェクトについて、早期に気候変動を踏まえた見直しをお願いします。

### 【政策提言の具体的内容】

- 仁淀川本川における国の抜本的な治水対策の推進
  - ・仁淀川本川の子な整備メニュー＜直轄事業＞
    - ①河道の掘削等、②侵食対策、③粘り強い化、④築堤
- 気候変動を踏まえた仁淀川水系流域治水プロジェクトの見直し
  - ・気候変動を踏まえた降雨量、河川流量を算出し、気候変動によるリスクを明らかにした上で、治水安全度の目標を見直し
  - ・そのうえで本川・支川・上下流一体となつて、流域全体の安全度を確保するためのハード・ソフト対策を策定

### 【政策提言の理由】

- ・近年、毎年のように全国各地で豪雨災害が激甚化・頻発化しており、河川のインフラ整備の加速化が重要となっています。
- ・このため、仁淀川水系流域治水プロジェクトを令和3年3月に策定し、治水対策に取り組んでいるところです。
- ・仁淀川の支川においては、波介川河口導流事業が平成24年に完了し、近年では、平成26年の豪雨災害を契機とした宇治川、日下川の床上浸水対策特別緊急事業が令和5年度に完了します。
- ・今後は、洪水時の本川水位を低下させる下流部の河道掘削や、いの町市街地で暮らす人々を守る堤防の粘り強い化など、本川の治水対策を推進することが重要であり、早期に河道掘削などを進めるための重点的な予算配分と、堤防の粘り強い化の実施が必要です。
- ・また、迫り来る豪雨災害の脅威に備えるためには、河川のインフラ整備の加速化に加えて、現行のプロジェクトを「気候変動による降雨量の増加などを考慮したものへ進化」させ、早期に見直しすることが必要です。

【高知県担当課】土木部 河川課